

# ダム事業の主要な課題について

平成14年6月28日

## — ダム事業の主要な課題 —

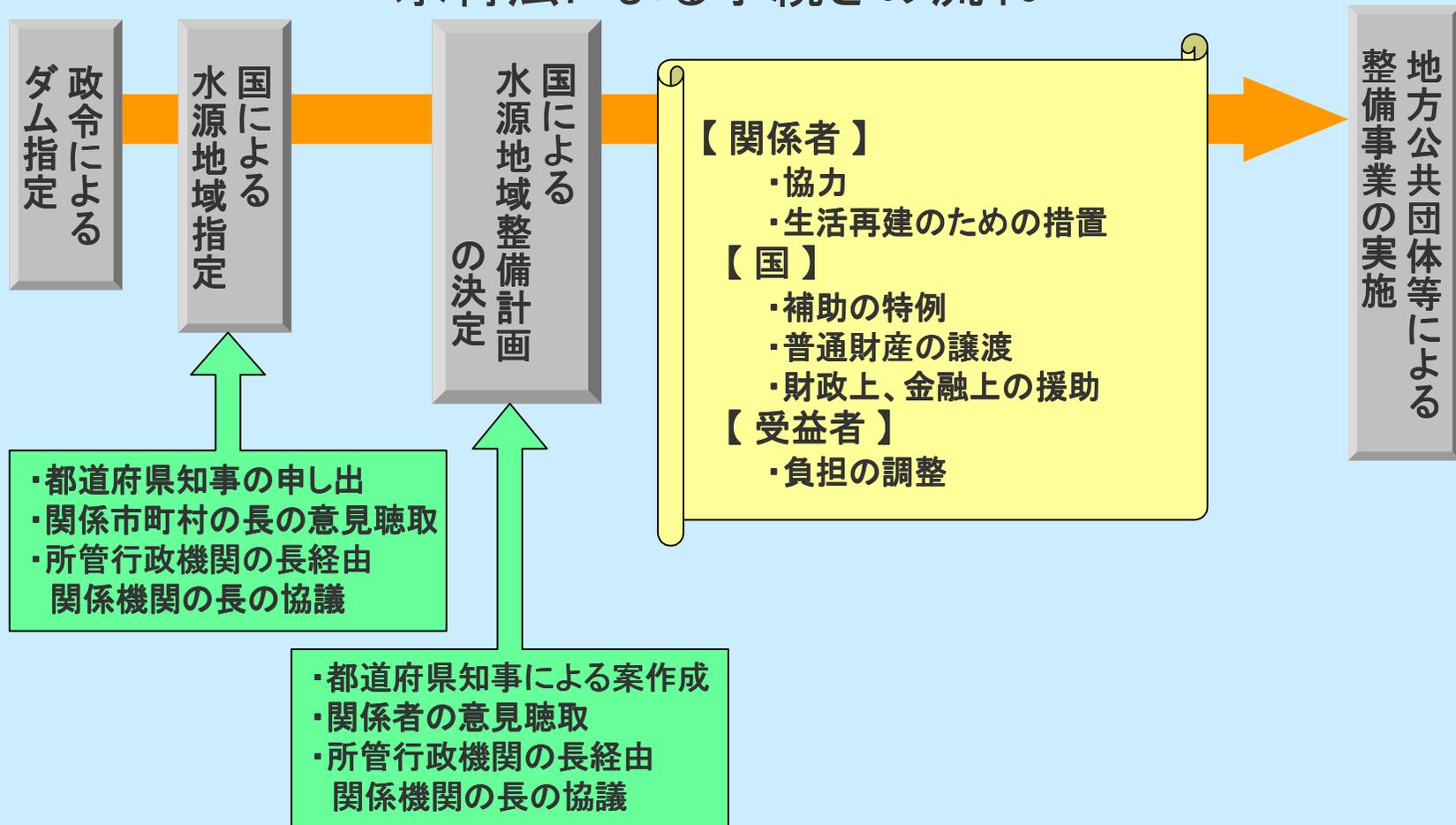
1. ダム事業をめぐる主な課題
2. 水源地域における住民生活の安定と福祉の向上を図るための水特法(水源地域対策特別措置法)の制定
3. 水特法に基づき、水源地域の振興対策を実施
4. ダム事業は、様々な環境要素に対して調査、予測および評価を実施している
5. 堆砂は地域によって大きく異なる
6. 土砂移動による環境の変化
7. ダム事業は、調査・補償交渉・用地買収・工事等の段階を経て実施
8. 近年のダム建設の期間は長期化の傾向
9. 事業評価の実施によりいくつかのダム事業が中止または休止

## ダム事業をめぐる主な課題

- 地域社会への影響
- 自然環境への影響
- 水環境への影響
- ダム貯水池の堆砂
- ダム事業の長期化
- ダム事業の客観性、透明性

# 水源地における住民生活の安定と 福祉の向上を図るための 水特法(水源地対策特別措置法)の制定

## 水特法による手続きの流れ



# 水特法に基づき、水源地域の振興対策を実施

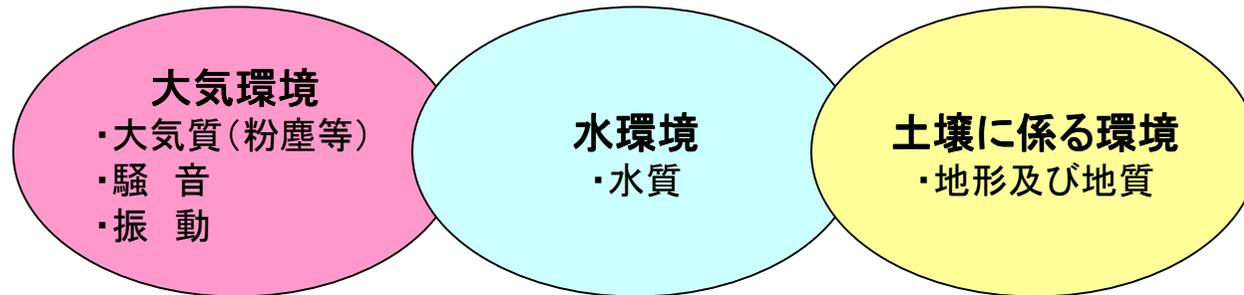
## ダム建設における水源地域対策



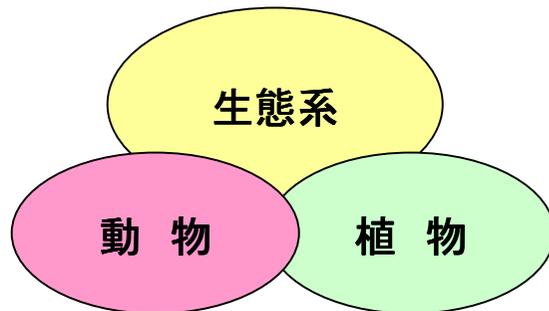
# ダム事業は、様々な環境要素に対して調査、予測および評価を実施している

## 環境影響評価法による環境要素

### ①環境の自然的構成要素の良好な状態の保持



### ②生物の多様性の確保 及び自然環境の体系的保全



### ③人と自然との 豊かな触れ合いの確保



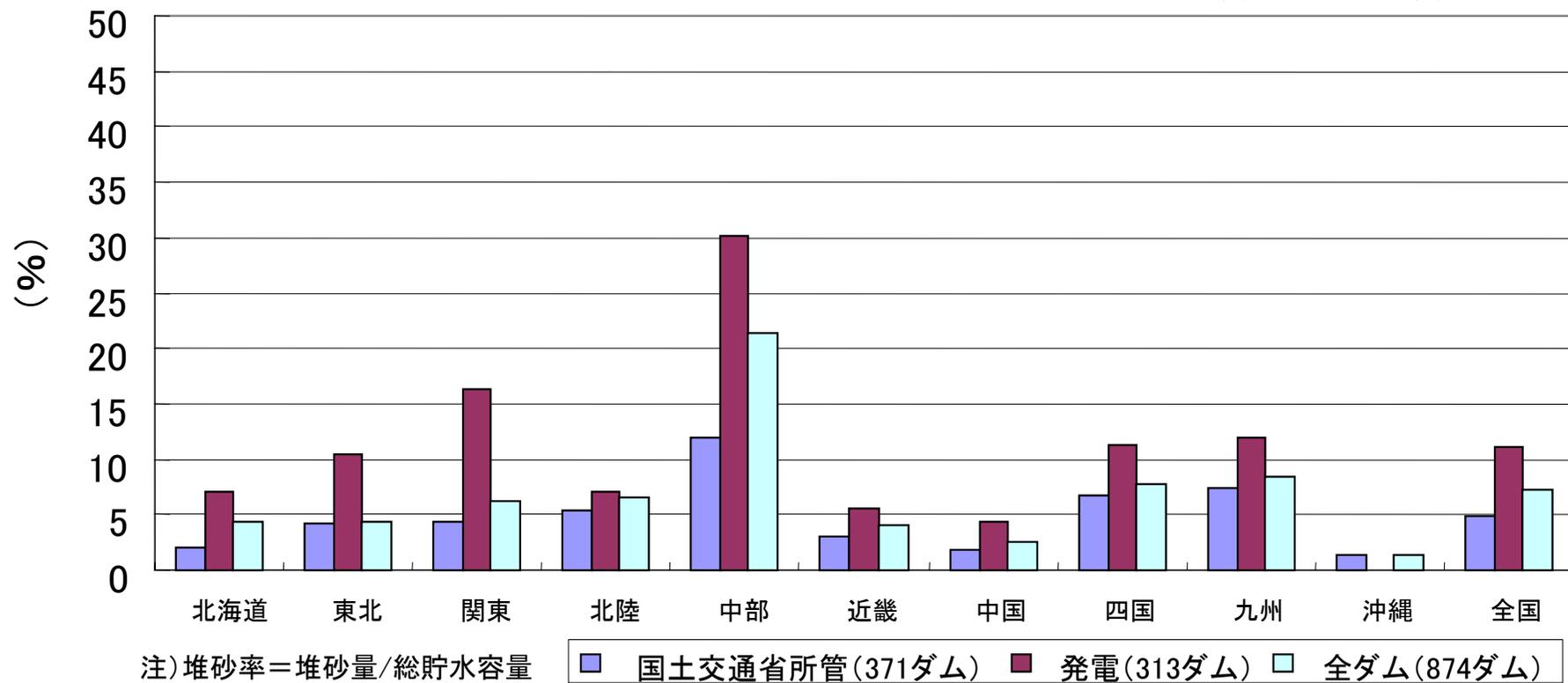
### ④環境への 負荷量の程度



# 堆砂は地域によって大きく異なる

## 地方ブロック別の堆砂率

1999年度(平成11年度)現在



# 土砂移動による環境の変化

## 森林植生の侵入阻害

秃山や崩壊地では、表土の流亡、冬の凍上・融解により土砂移動が著しく、植生の侵入が難しい。

土砂移動が抑制されなければ困難な緑の回復(山腹工)。



砂防工事着手前の実況 明治40年(1907)8月撮影

【愛知県:愛知万博会場(海上の森)】

砂防工事着手1年後の実況 明治41年(1908)10月撮影

現在の状況

## 河川環境の変化



平成4年:撤去直後

【京都府:桂川「渡月橋」】

約4年が経過

平成8年10月の状況

橋梁周辺で土砂堆積により中洲が形成されるなど、河川の疎通能力に影響。



出典:国土交通省資料

## ダム貯水池上流部の環境変化

【長野県:美和ダム】

貯水池末端における堆砂が進行することにより、貯水池機能に影響。



## 海岸環境の変化

名勝三保の松原が海岸侵食の危機にさらされるなど、侵食の増大は海岸環境にも大きな変化をもたらす。

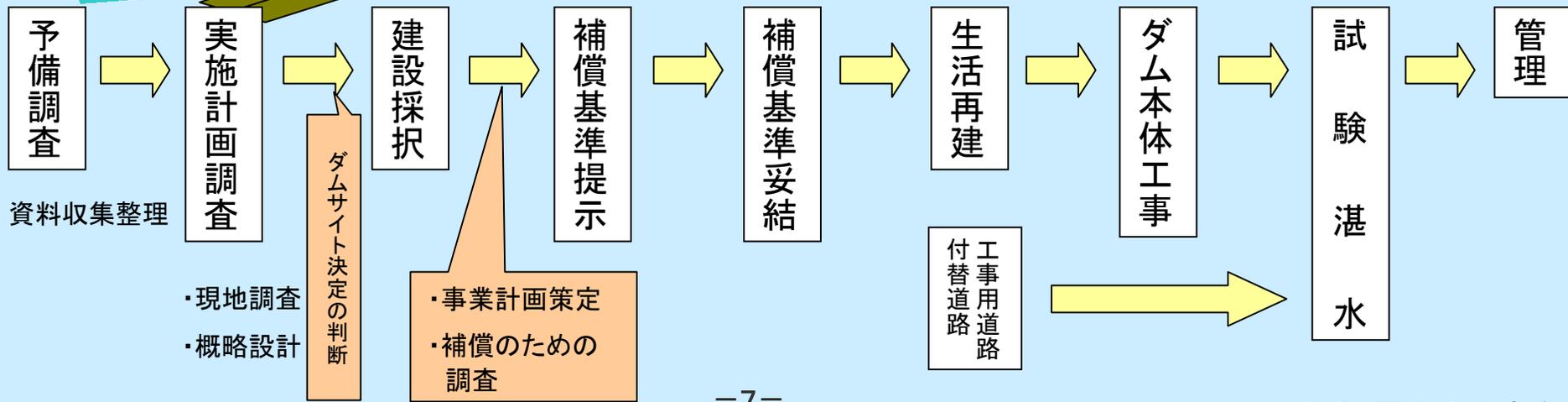
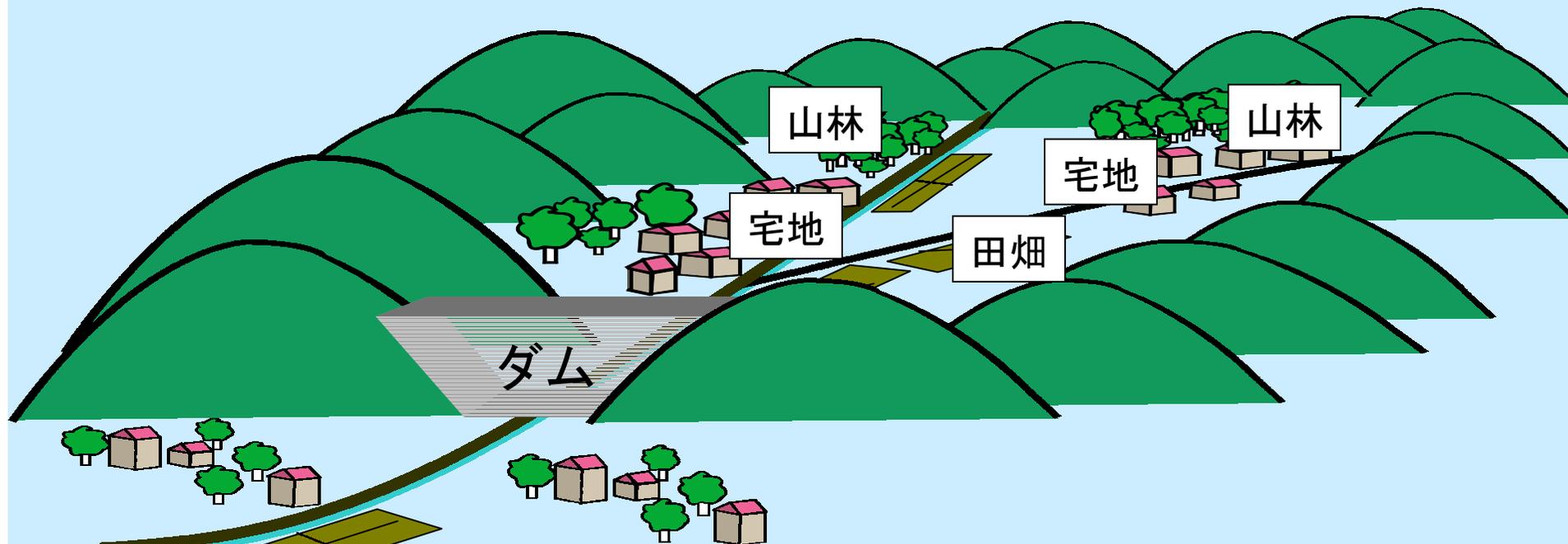
【静岡県:清水海岸】



【平成6年の被災状況】

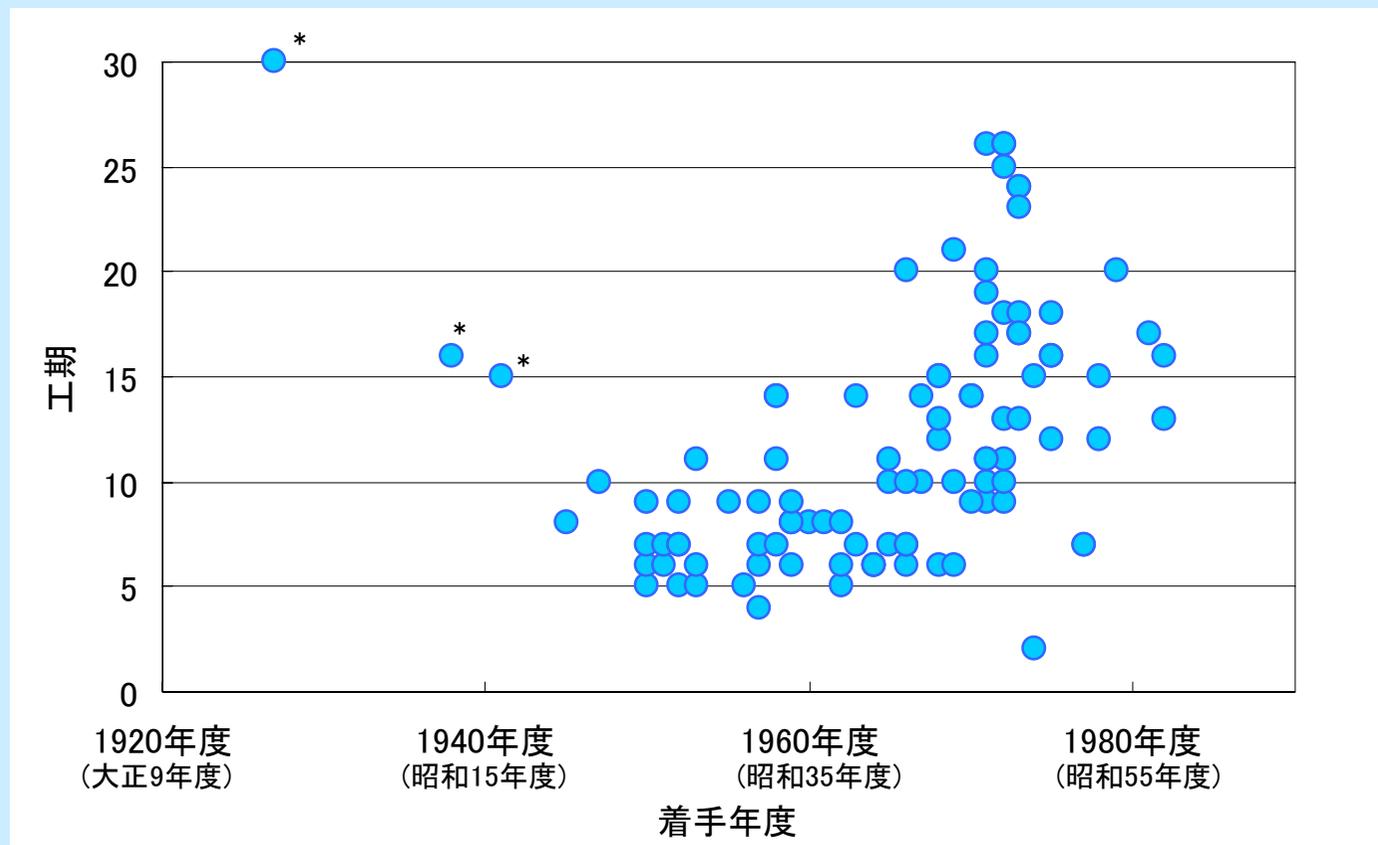


# ダム事業は、調査・補償交渉・用地買収・工事等の 段階を経て実施



# 近年のダム建設の期間は長期化の傾向

## ダム(直轄・公団)の工期



\* 工期に戦時中の中断期間を含む

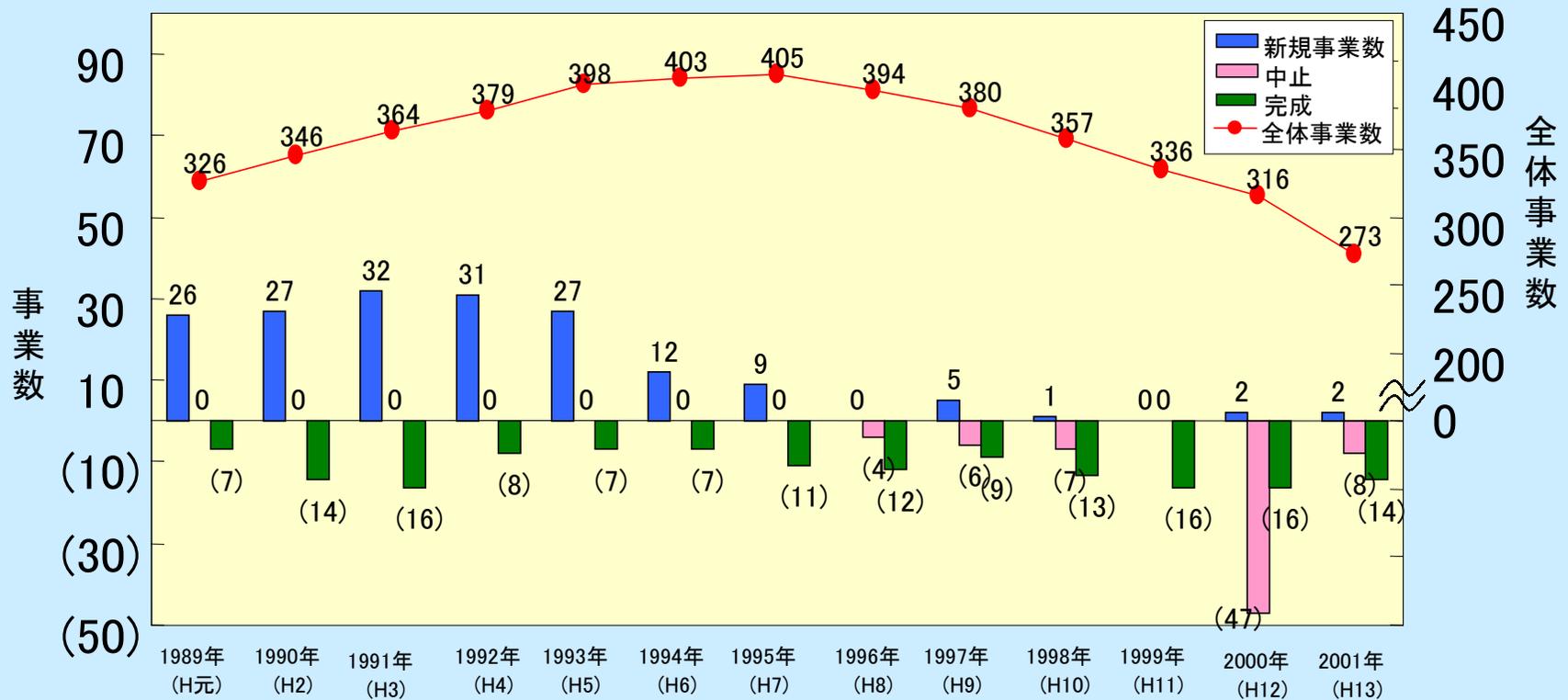
注1) 実施計画調査着手年度から竣工年度(建設費が計上された最終年度)までの期間を工期とした。

注2) 河川総合開発事業における竣工ダムのうち、直轄事業(特定多目的ダム建設事業、河川総合開発事業、水資源開発公団事業)のダムを対象とした。

# 事業評価の実施によりいくつかのダム事業が中止または休止

2001年(平成13年)度までに72事業が中止

ダム事業の事業数



※新規事業数には実調から建設への移行、及び補助通常から生貯への移行等事業の変更による新規採択事業を含まない。

H13.8現在